

# 見知らぬ子にも愛情深く

私が2年前から住んでいる中国の杭州は、美しい自然風景と複数の世界文化遺産で有名な観光地として知られています。

月曜掲載

## 中国・杭州

その一方、2023年の「杭州アジア大会」もきっかけの一つとして、近年で著しい発展を遂げた地域としても注目されています。それに伴い、他地域からの移住者が急激に増え、国内のさまざまな信条や価値観が交錯していると公安当局の方が話をされています。



グローバルにいがた @世界の街



小林 勇也さん

十日町市出身



さまざまなことを実感として学んでいます。

中国と日本との関わりにおいては、この2年間だけでも、日本のメディアから多くのことが報じられ

ており、読者の皆さんの記憶にも新しいと思います。皆さんは中国および中国人に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。

私は杭州での生活が始まってから、今もなお日本の地から想像していた中国のイメージが、この地で実感した中国の印象で塗り替え続けられる日々を過ごしています。

その中でも特に、子どもへの愛情については中国の印象を語る上で欠かせないものとなっています。小学校低学年の娘を連れて歩いていると、見知らぬ人から「身体を冷やさないようにね」と声を掛けられたり、混雑した地下鉄では必ずと言ってよいほど席を譲っていたりします。身動きが取れぬほどの混雑時には、娘を自らの膝の上に座らせてくれた人もいます。

世界文化遺産「西湖」とその先に見える高層ビル群

わずか2年の間ですが、日本の文化に憧れを持ち、日本人に親しみを抱いている若者と幾度となく出会ってきました。日本人が身の危険を感じるような事件にも、その側面には身を置いていて日本の子どもを守ろうとした中国人の存在がありました。

この地で暮らし、歴史と発展が織り成すコントラストに魅了されるように、さまざまな側面に人と人との未来への可能性を感じずにはいられません。

(小林勇也さんは1981年生まれ。十日町市出身。文部科学省の在外教育施設派遣教員として2023年から杭州日本人学校で勤務しています)

海外で暮らす本県関係者が現地の様子を紹介します。ウェブサイトに新潟日報デジタルプラスにも掲載。執筆希望も受け付けています。



# 高校生企画熱演に湧く

長岡で初ミュージックフェス

ダンス・バンド10組参加



新潟市アグリパーク初コンテスト

表情豊か  
具で彩色

雪だるま作りを通して、体を動かしながら子どもの想像力を育むことを目指す「雪だるまコンテスト」が19日、新潟市南区の市アグリパークで開かれた。青空

定しているカップル。

条件は、胎内市内での事前打ち合わせなどに参加でき、式の企画や進行を担当する市内ホテルで、披露宴や宿泊などをすること。実行委や報道

## チューリップ畑で 結婚式いかが

4日

って雪だるまを作  
雪だるまは、木  
ぼっくりで飾り付  
げに、アグリパー  
されずに残ったピ  
ニンジンといった  
られた絵の具で色  
た。子どもたちは  
ほうれん草だ」「  
ピンク色がきれい  
大喜びの様子だっ